

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ウラジオストク総領事館

記入日 平成27年4月15日

1. 現地の建設・不動産市場に係る経済情報

該当なし

2. 建設業制度、入札契約制度、不動産業制度の改正動向

該当なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	沿海地方に建設される計画の鉱物肥料工場の場所がコジミノ町に決まった。工場の建設には、非公開型株式会社「ナショナル・ケミカル・グループ」が取り組むことになる。	2014/10/7「ウラジオストク」紙
2	ウラジオストクで、ウラジオストク・アグロメレーション設立についての協定が署名された。アグロメレーションには、ウラジオストク、アルチョム両市管区、ナデジュディンスキー、シュコト自治区が参加し、これにより自治体は、調整された都市建設政策を実施し、統一された管理政策を形成し、輸送、技術インフラ（水道、ガス、電気など）、および社会インフラを発展させることができる。	2014/10/30「ウラジオストク」紙
3	ロシア企業「ルスギドロ」は、世界最大級の同名のダムで知られる中国の「Sanxia（三峡）」（中国長江三峡集团公司）との間で、ロシア極東での水力発電所建設に関する協定に署名した。	2014/11/10「コメルサント」紙（電子版）
4	ウラジオストクでの「ハイアット」チェーンの5つ星ホテル2軒の建設作業は2015年に完了する予定である。	2014/12/26「ウラジオストク」紙

5	極東の住民一人一人が土地を1ヘクタールずつ無償で受け取れるようになるだろう。ウラジーミル・プーチン大統領は1月19日、こうした提案を支持した。土地分配のイニシアチブを出したのはユーリー・トルトネフ副首相兼極東連邦管区大統領全権代表だった。	2015/1/20「ロシア新聞」(電子版)
6	1ヘクタールの土地の無料交付に関するトルトネフ副首相兼極東連邦管区大統領全権代表の提案にコメントする形で、マガダン州は住民あるいはこの地域に転居する者に、最高で5ヘクタールを無料で割り当てる用意があると伝えた。	2015/1/20「モスクワ放送」
7	「スンマ」グループは今春、沿海地方のボストーチヌイ港で新たな石炭ターミナルの建設を開始する予定である。	2015/2/5「ウラジオストク」紙

4. その他我が国の建設産業界にとって参考となりうる最近の動向(報道情報以外)

・有限会社「ファーストウッド・プリモーリエ」が2014年9月に事業登録を行った。同社は飯田ホールディングスが85.71%, 有限会社「アキラ」が14.29%の株式を保有する。